

施肥をされない樹木は、腹ペコ状態

新年のあいさつも兼ねて春号を発行しようと思っておりましたが、もたもたしている間にすっかい春めいた日差しになってしまいました。でもまだまだ寒い日もありますので皆様には気候の変動には気を付けて頂きたいと思います。



千代田園芸社
の石倉です

さてちょっと前のお話になってしまいますが、昨年11月24日には施肥セミナーを開きました。3連休の真ん中にも関わらずたくさんのご参加下さりありがとうございました。日程の印刷ミスのため、結果的に参加を見送られた方々は本当に申し訳ありませんでした。もう一度機会をみて施肥を企画したいと思いますのでよろしくお願い致します。今回は参加くださった方が多く施肥以外のお話も盛り上がってとても楽しかったです。

今回は時々チラシを入れていくんだけど、一度も行ったことがないし、場所もはっきりしないので見に行ってみるかって方が多かったです。場所がわからなくて随分迷ってしまった方もみえて(それほどわかりにくい所にあります)ではじまり時間が少しばらつきましたが、皆様積極的に施肥の仕方等はもちろんその他果樹やお庭にある樹木についてたくさん質問をくださいました。

少し寒い日だったので、甘酒などもの飲みながら皆様お互いの話にすっかり盛り上がって楽しい時間だったのではないのでしょうか？
店にあるブルーベリーを見つけられ、それがとても「大きくておいしい実を付ける」とお話すると「そ

んなに簡単でおいしいなら、挑戦したい」と言われる方が数名見え適切な時期にお声をかけることになりました。1時間ほどの予定がゆうに2時間を過ぎてしまったのも皆様の盛り上がりのおかげです。セミナーも今後今回のようにワイワイと楽しくやっていけたらいいな—と思っています。その中で、「もう少し高度な内容を」との声が一部にありましたが、今のところは皆様に最低限度家庭のお庭について知っておいて頂きたい事を主にセミナーを開催したいと思いますので、もうちょっと高度な内容についてはまた別の機会だと思います。

その中で驚いたことに、いろいろな植物を熱心に育てていらっしゃるのに、肥料をやったことがない方が随分お見えなのには驚きました。寒肥とかお礼肥等は聞いたことはあるのですが、「何をいつ、どのくらいやったらいいかわからない」との声が多かったです。もう一度大切な庭木がお腹を空かしていないか見てやってください。そしてぜひ施肥をしてください。このニュースレターがお手元に届くころは寒肥の時期はすぎているかもしれませんが、少々おくても大丈夫です。日頃肥料をやっていない方には絶好のチャンスです。肥料を施しましょう。詳しく知りたい方にはセミナーで使った資料がまだ残っていますので、無料で差し上げますのでお電話ください。1度失ったら2度とてに入らない宝です。



クリスマスの植えた木が巨大になる日

昨年秋号を皆様にお送りした後、たまたま金沢に行く用があり兼六園に行ってきました。

前に松の剪定の話で兼六園の状態をお話しましたが、今回は有名な雪つりを見てきました。まだその時は雪は降っていませんでしたが、雪つりは本当に美しいですね。寒い中結構海外からのお客様もおみえでした。茶店でお抹茶を頂いたのですが、ヨーロッパあたりの方でしょうか、カップルがなれない手つきで箸をもち割後弁当をつつきながら楽しそうに池越しの景色を眺めていました。うれしいですね。雪つりの作業は兼六園の松がとても大きいので大変だろうと思います。どうやっているのか想像していたらため息が出ます。今度は作業状況を見られる時に行きたいと思います。

前に金沢の庭師さんと話していたら、あちらでは秋に入ったら剪定をする暇がなく、とにかく雪つりの仕事でいっぱいだと言っていました。ちょっとうらやましかったです。一般家庭でも大切な庭木に雪つりをするんですね。確かに雪は重く、こちらでたまに降るだけでも松など枝を下げでしまい、揺らして雪落としをしなくてはいけない時がありますから、毎日のように降る雪から枝を守るにはあの方法でしょうか。美的にもかなくなっています。

今回兼六園はすべての松に雪つりがやっであるわけでもなく、結構立派でもしてないのもあり、どこで区別しているのだろうかと思っています。

さて今回はコニファーについて考えてみたいと思います。大山田団地ができてしばらく経ったころ**ゴルドクレスト**をや**スカイロケット**を中心とした**コニファー**がとても流行り沢山植えられました。金額的にも手軽で、特に洋風建築にとっても良く合っていました。家の回りに数本植えればそれなりに雰囲気

気ができました。**クリスマスの頃**に植えられたかたも多かったのではないのでしょうか。

ただし当時から成長の速さが懸念されてました。うちでは取扱いは控える方針を取り、どうしてもとおっしゃる場合を除いて取り扱わない。また扱う



大きくなりすぎが問題に

場合も成長の遅いエメラルドなどを進めることにしました。

やはりここ数年、特に**ゴルドクレスト**をどのように管理または処理していくかの問題が起きてきました。何件かの伐採や大幅な剪定の以来がありました。大きくなったコニファーの剪定の場合は**昔の美しさのかけらはどこにも無い風貌**になってしまいます。コニファーの特徴で(コニファーだけではないのですが、)表はきれいでも中は枯れ枯れで葉がないことが多いのです。ましては大幅なカットはほとんど茶色になって昔の円錐形の美しさのかけらもない状態になってしまいます。もう一つ、針葉樹の特徴として木自身がとても重量があるのに根が浅く、独り立ちしにくいことです。倒れかかったり、傾いている場合がとても多いのです。まっすぐ伸びているのが美しい樹木です。場合によったらかわいそうですが、コニファーは手に入りやすい値段のものが多く、**姿が悪くなったら割り切って植え替える**考え方も有りかもしれません。ただし大きく育ってしまったコニファーは伐採にしても抜取にしても重量が大きいので処分費がとてもかかります。ましてはお隣境や建物のすぐ脇の場合、倒すのにとっても気を使い手間もかかります。あまり**大きくなる前に(6mも 7mにもなっている場合があります)**に**どうするか方針を決め**造園業者に相談してください。